

5月29日(金)オープニングセレモニー開催
地元小中学生約400名が青空教室で環境を学ぶ
『**雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス**』竣工

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区、理事長：縄英明）は、北海道夕張郡栗山町とNPO法人雨煙別学校の協力のもと、当財団として初となる、環境教育を中心とした体験型宿泊施設『雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス』を5月29日（金）に竣工いたします。

『雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス』は、北海道でも希少な、現存する二階建木造校舎である「旧雨煙別小学校（1899年12月開校、1998年3月廃校）」の廃校舎を再利用し、当財団が改修の資金を拠出し、栗山町、NPO法人雨煙別学校の協力のもと、約1年がかりで建設されました。

1936年に現在の二階建木造校舎として完成してからおよそ70年、校舎の面影を残して内外装が改修されました。校舎には20名程度が泊まれる大部屋や指導者用の個室が用意され、計4部屋の宿泊スペースを持ち、最大80名の宿泊が可能となります。また、食堂や炊事場、大小浴場や洗濯機などの設備を備え、さらに、資料展示や研究発表を行うスペース、団体でのプログラムや講義など多目的に利用できる講堂があり、全国の青少年を中心に自然体験教室や、指導者の環境教育研修などの活用を想定しています。

施設の運営管理はNPO法人雨煙別学校が行い、今夏を目処に段階的に運用を開始する予定です。オープニングセレモニーでは、地元の小中学生約400名を対象に、同法人の高橋慎副理事長から、川と魚に関する環境教育のプログラムが、施設のグラウンドで実施されます。

今後は、NPO法人雨煙別学校の運営のもと、全国の学校や教育団体を対象とした環境教育のプログラムなどが実施される予定です。また、当財団が実施している全国の優れた環境教育を実施する団体を顕彰するプログラムや、環境教育活動を発表するフォーラム、外部団体・教育機関などと連携したプログラムなども年間を通じて同施設にて実施される予定です。

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団では、『雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス』の支援を通じて次世代育成をはじめとした社会貢献事業の展開に努め、「心豊かでたくましい人づくり（Healthy Active Life）」を理念に、地域社会が求める青少年の育成を目指していきます。

■『雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス』概要

住所：北海道夕張郡栗山町雨煙別1番地4
敷地面積：8,604㎡
建築面積：1,351㎡（木造、2階建て）
宿泊部屋数：4部屋（団体利用用）
※その他に宿泊が可能な指導者室あり
収容人数：80名
主要設備：食堂、炊事場、浴場、多目的教室（講堂）
資料展示研修用スペース
連絡先：info@cocacola-zaidan.jp
運営主体：NPO法人雨煙別学校

